

【3月号特集「半導体電力変換研究会特集号」予告】

半導体電力変換技術委員会委員長

伊瀬 敏史（大阪大学大学院工学研究科）

半導体電力変換技術は電気エネルギーを制御する基盤技術に発展してきました。産業機器はもとより、家電機器から電力システムの制御まで幅広く使用されています。電気学会産業応用部門では回路技術・制御技術・モータドライブ技術などが議論され、電力関係の半導体電力変換技術については電力・エネルギー（B）部門でも議論され、パワーデバイス技術については電子・情報・システム（C）部門で議論されています。そこで、半導体電力変換技術委員会では他部門・他学会との共催を積極的に行い、毎年6回～8回の半導体電力変換研究会を開催し、ここ数年毎年140～180件の発表が行われています。このような背景のもと、半導体電力変換技術に関する論文をできる限り集約して読者の目に触れやすくすると同時に、研究会で発表される論文を一件でも多く学会誌論文として価値あるものとするために、平成19年3月号では「半導体電力変換研究会特集号」を企画いたしました。本特集号では、過去に半導体電力変換研究会で発表された論文をベースに、研究会における質疑やコメント等の討議結果を踏まえて投稿され、査読を経た論文7件を特集論文としてまとめて掲載いたします。

なお、本特集号の企画に関しては今後継続することとしており、平成20年（2008年）3月号でも同様の企画にもとづいて投稿論文を募集中です。投稿締切は平成19年（2007年）3月23日（金）で、電気学会ホームページ <http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.html> より電子投稿をお願いしておりますが、電子投稿が困難な場合は電気学会会誌編修課D部門誌特集論文受付係に郵送していただいても結構です。なお、投稿に際しては投稿票への必要事項の記入に加えて、「D部門誌平成20年3月号半導体電力変換研究会特集号、研究会論文番号（SPC- - ）」を必ず記してください。研究会での発表論文番号がないと特集号論文として扱うことができませんのでご注意ください。奮ってのご投稿をお待ちしております。